

避難所利用を想定した施設整備について ～府中第一中学校を事例として～

府中市教育部学校施設課

府中市の概要

府中市は、東京都のほぼ中央に位置し、副都心新宿から西方約22kmの距離にあります。

昭和29年4月、府中町、多摩村及び西府村が合併し、府中市が誕生しました。

■人口：262,162人
(令和8年1月1日時点)

■面積：29.43 km²

■学校数：小学校 22校
中学校 11校

児童数：12,740人

生徒数：5,867人

(令和7年5月1日時点)



府中第一中学校改築の経緯

■令和元年度

「府中市学校施設改築・長寿命化改修計画」を策定
計画的に老朽化対策を行うことを決定

第一期改築実施校として、

府中第八小学校 **府中第一中学校**を選定

■令和元年度・2年度

基本計画・基本設計・実施設計

■令和3年度・4年度

改築工事

■令和5年度

新校舎・新体育館供用開始



府中第一中学校の概要



敷地住所	府中市幸町1-22
構造	校舎棟RC造、体育館棟S造
階数	地上4階、地下2階
敷地面積	25,400m ²
建築面積	6,113m ² (既存武道場棟除く)
延床面積	11,794m ² (既存武道場棟除く)
生徒数	665人 (令和7年5月1日時点)
学級数	通常学級18学級、特別支援学級4学級 (令和7年5月1日時点)

府中第一中学校の改築に当たって

■府中市学校施設改築・長寿命化改修計画での位置づけ

避難所

現状

- 高齢者や要配慮者などに対応した設備やスペースが必要
- 体育館の入り口に受付を設けるスペースが必要
- 体育館と防災倉庫が近いことが求められている

対応

- これまでの体育館の開放に加え、原則、多目的ルーム・家庭科室・会議室・和室等を追加します
- 平常時と災害時に関わらず、適切な生活や運営ができるよう整備します
- 体育館から近い位置に、防災倉庫を設けます

※出典：第2次府中市学校施設改築・長寿命化改修計画(概要版)P4

府中第一中学校の改築に当たって

■改築を契機とし避難所利用を想定し設計

避難所に求められる内容を整理

- ・電力、上下水道、ガス途絶時でも対応可能な避難所
- ・洋便器やバリアフリートイレの設置
- ・体育館に近い場所への防災倉庫の設置等

防災担当部局ともヒアリングを重ね調整

- ・避難所の面積、収容可能人数の確認
- ・インフラ供給プランのすり合わせ
- ・防災倉庫の必要面積、の確認
- ・バリアフリーな避難所への要望

避難所利用可能設備

【電力】

非常用発電機・太陽光発電＋蓄電池(20kw)

→停電時でも避難所エリアの照明・一部コンセント利用可能

【上水】

受水槽

→途絶時でも避難所エリアの受水槽残置分は利用可能

【下水】

汚水槽→途絶時でも枘を切り替えることにより避難所エリアのトイレを利用可能

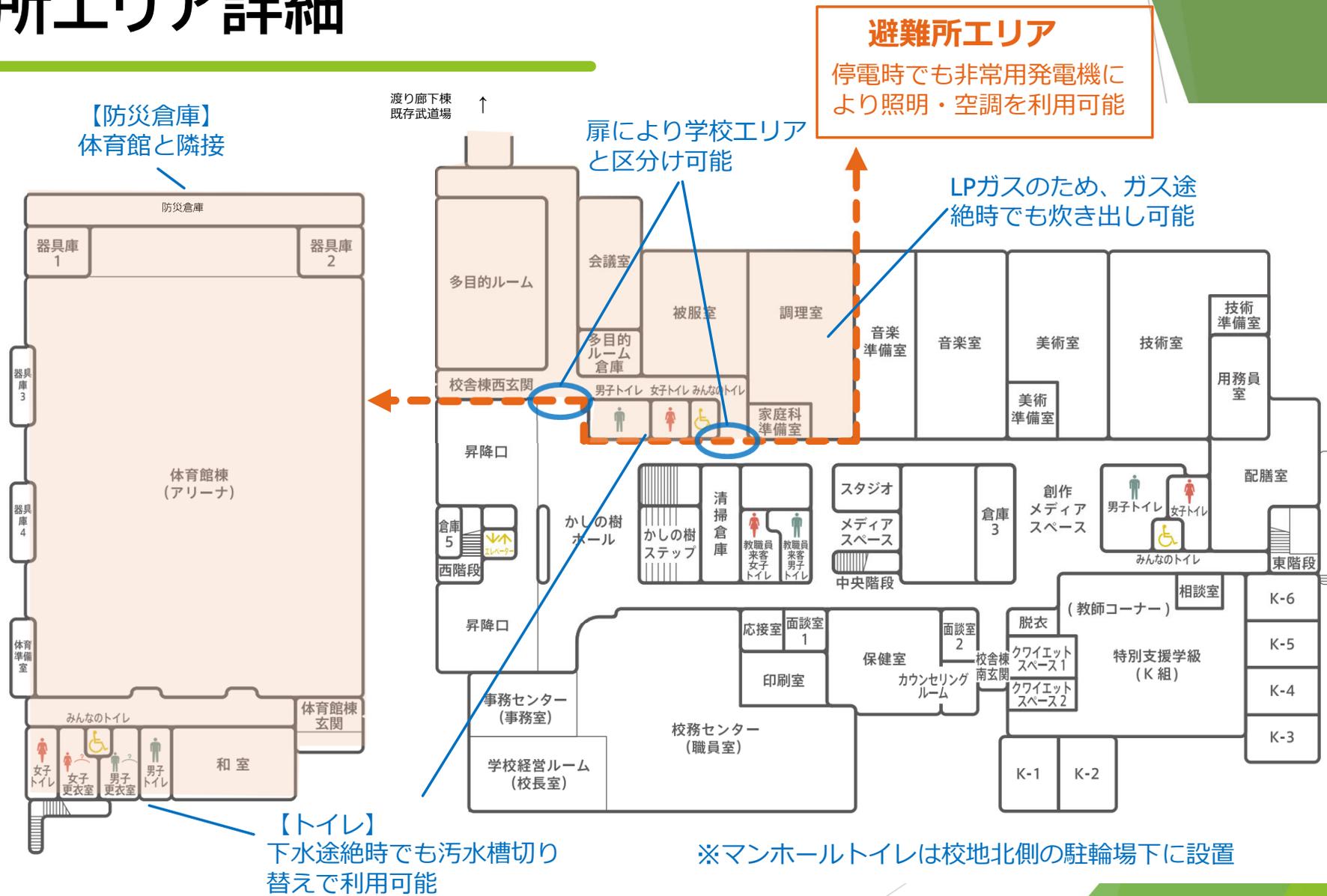
マンホールトイレ→敷地内の駐輪場下に設置

【ガス】

LPガスバルク

→都市ガス途絶時でも避難所エリアのGHP空調、家庭科室のコンロが利用可能

避難所エリア詳細





体育館

防災備蓄倉庫



和室

体育館バリアフリースイレ



家庭科室(調理室)



避難所エリアと学校エリアの間仕切り



府中市立
府中第一中学校

校舎外観

ご清聴ありがとうございました。



府中市マスコットキャラクター

ふちゅこま

これまでの学校施設老朽化対策の取り組みは府中市ホームページでも公開していますので、ぜひご覧ください。

<https://www.city.fuchu.tokyo.jp/kosodate/kyoiku/shochugakko/gakkousiseturokyuukataisaku/index.html>

